

研修医瓦版

6 月 号

発行
神戸大学医学部附属病院
総合臨床教育センター

2023年度研修医ミーティング下半期ベストレクチャー賞 受賞の先生方よりメッセージをいただきました！

「人工呼吸器」

麻酔科 西村太一 先生
(甲南医療センター)

研修医の皆さま、お疲れ様です。
この度はベストレクチャー賞をいただき、誠に光栄に思います。人工呼吸器という医師にとっては必須のアイテムでありながら、なかなか親密になりにくい存在を身近に感じていただけたら幸いです。人工呼吸器は怖くないですよ、友達です。また、レクチャーはさせていただきましたが、座学と実学の併用に勝ることはありません。どの科で研修していても、専攻していても、自身の患者が人工呼吸器管理になったら、少しでも興味を持って集中治療医に相談してください。今後、皆さまのさらなるご発展とご活躍を願っています。

ご講演いただいた先生方、ありがとうございます。

「CBCの読み方」

腫瘍・血液内科 佐伯美紀 先生

下半期ベストレクチャー賞に選出いただきありがとうございます。「CBC (Complete Blood Count, 血算) の読み方」と題し、2回に分けて講義をさせていただきました。CBCは研修を行う中でほぼ毎日目にすることになる検査であり、研修医の皆様に興味を持って頂けて良かったです。ひとことでCBCと言ってもその読み方には様々な奥行きがあり、生化学検査や症状などと合わせて複雑な病態を紐解くことができます。興味がある方は一緒に勉強しませんか？腫瘍・血液内科でお待ちしております！

「虐待への対応」

小児科 永瀬裕朗 先生

この度はベストレクチャー賞に選出いただき大変光栄です。
児童虐待なんて滅多に診ないと思いますが、非常に頻度は高く、必ずどこかで診ています。虐待されている子どもをどのように発見するのか？というのは福祉ではなく医学の問題であり、私たちの発見によって子どもたちが救われます。また難治の成人病の患者さんの多くは虐待サバイバーです。そのような視点を持って診療することで成人患者さんの理解の幅も広がると思います。

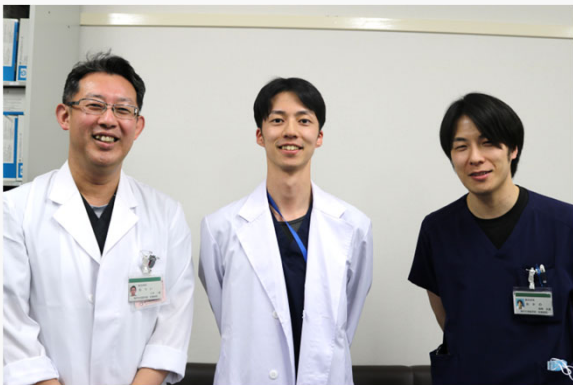
祝受賞

医学生・研修医・専攻医の
日本内科学会ことはじめ2024東京

4/12～4/14

高永先生とご指導いただいた岡野先生、杉本先生よりコメントをいただきました。

左から
乙井先生、高永先生、岡野先生



ポスター発表優秀演題賞受賞

2年目一般コース

高永純平 先生

この度は優秀演題賞を頂戴し、大変光栄に思います。この受賞は、決して私1人の力ではなく岡野先生や杉本先生をはじめとする総合内科の先生方のご指導ご協力あってのものだと思っています。これからも感謝の気持ちを持って日々の臨床業務に尽力して参りたいと思います。

総合内科
岡野光真 先生

おめでとうございます！発表直前まで質疑応答の準備に取り組んだ熱意が実を結んだかと思えます。特に当日の堂々とした発表、想定していた質問が飛んできた時の表情は印象的でした。今回の経験を活かして、引き続き目の前の患者さんの診療も頑張ってください。

総合内科

杉本和真 先生

(はりま姫路総合医療センター)

高永先生、この度は受賞おめでとうございます！当時、一緒にグループでこの症例を担当していた時は診断がつかず非常にもどかしい思いでした。最終的に診断がつき、複雑な経過を綺麗にまとめた発表しこのように賞を受賞されたのは自分のことのように嬉しいですね。この経験を糧に今後の更なるご活躍を楽しみにしています。